

2015年12月期 決算説明会

片倉工業株式会社

(コード:3001 東証第1部)

2016年2月22日

目次



ページ	項目	ページ	項目
4	1. 2015年12月期 決算概要	17	3. 中期経営計画「カタクラ2016」進捗状況
5	連結損益計算書	18	「カタクラ2016」について
6	連結損益計算書 セグメント別売上高実績	19	数値計画
7	連結損益計算書 セグメント別営業利益実績	20	中計進捗サマリー 売上高
8	連結貸借対照表	21	中計進捗サマリー 営業利益
9	連結キャッシュフロー計算書	22	セグメント別進捗 医薬品事業
10	設備投資・減価償却費・研究開発費	24	セグメント別進捗 繊維事業
12	2. 2016年12月期 通期業績予想	26	新規事業の創出
13	連結損益計算書 通期予想	28	セグメント別進捗 不動産事業
14	連結損益計算書 セグメント別売上高予想	33	セグメント別進捗 機械関連事業
15	連結損益計算書 セグメント別営業利益予想	35	設備投資額・減価償却費・研究開発費
16	設備投資額・減価償却費・研究開発費予想	36	4. 株主還元について
		37	株主還元
		38	《参考資料①》 多角化の起源
		39	《参考資料②》 カタクラグループの事業構成

1. 2015年12月期 決算概要

連結損益計算書

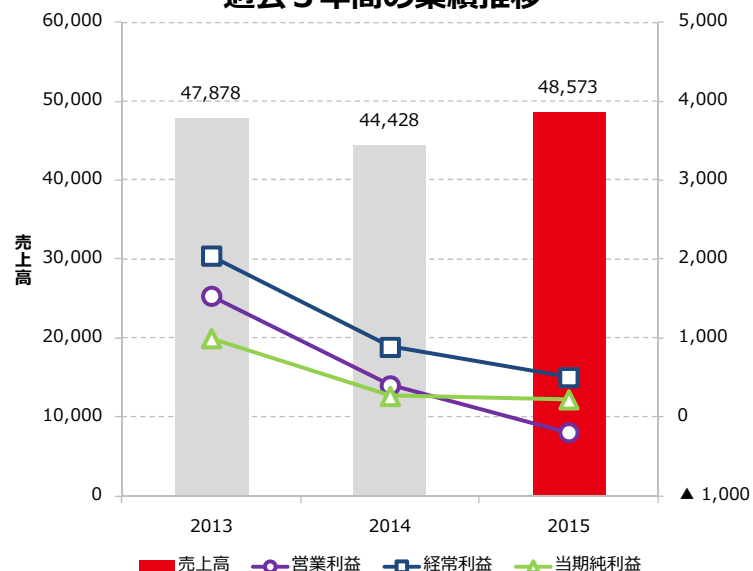


前年に対し大幅増収も、新S Cの開業負担等もあり減益。

(金額単位：百万円)

	2015実績		2014実績		前年増減	2015予想		予想との差異
	A	売上比	B	売上比	A-B	C	売上比	A-C
売上高	48,573	100.0%	44,428	100.0%	▲ 4,145	48,700	100.0%	▲ 127
営業利益	▲ 190	▲ 0.4%	404	0.9%	▲ 594	▲ 100	▲ 0.2%	▲ 90
経常利益	507	1.0%	890	2.0%	▲ 383	450	0.9%	57
当期純利益	226	0.5%	268	0.6%	▲ 42	300	0.6%	▲ 74

過去3年間の業績推移



【売上高】

- ・機械関連 +28億円
- ・不動産 +16億円

【営業利益】

- ・新規 ▲2.6億円
- ・繊維 ▲1.9億円

【当期純利益】

- ・投資有価証券売却益 10億円
- ・固定資産処分損 7億円増加

【売上高】

- ・医薬品 ▲1億円

【営業利益】

- ・医薬品 ▲2.2億円
- ・不動産 +0.6億円
- ・その他 +0.6億円

【当期純利益】

- ・税金費用の増加

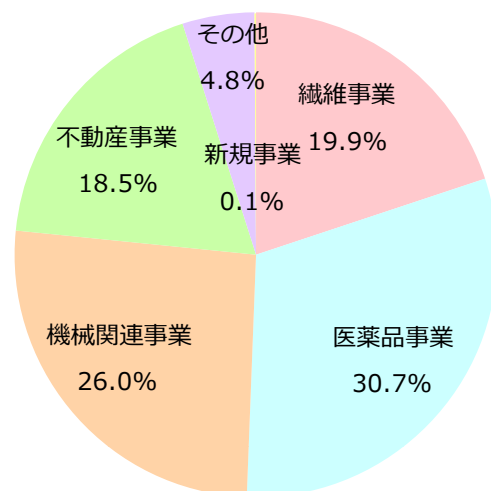
連結損益計算書 | セグメント別売上高実績



(金額単位：百万円)

	2015実績		2014実績		前年増減	2015予想		予想との差異
	A	構成比	B	構成比	A-B	C	構成比	A-C
売上高	48,573	100.0%	44,428	100.0%	4,145	48,700	100.0%	▲ 127
繊維事業	9,652	19.9%	9,524	21.4%	128	9,600	19.7%	52
医薬品事業	14,903	30.7%	14,709	33.1%	194	15,000	30.8%	▲ 97
機械関連事業	12,607	26.0%	9,764	22.0%	2,843	12,600	25.9%	7
不動産事業	8,982	18.5%	7,363	16.6%	1,619	9,000	18.5%	▲ 18
その他	2,375	4.9%	3,062	6.9%	▲ 687	2,440	5.0%	▲ 65
新規事業	52	0.1%	4	0.0%	48	60	0.1%	▲ 8

セグメント別売上高構成比



【機械関連】

- ・大容量送水ポンプ車の新規受注増
- ・消防自動車の前年からの期ズレによる増

【不動産】

- ・コクーン2・3の開業

【その他】

- ・前年末に小売事業で1店舗閉鎖（大宮店）

【医薬品】

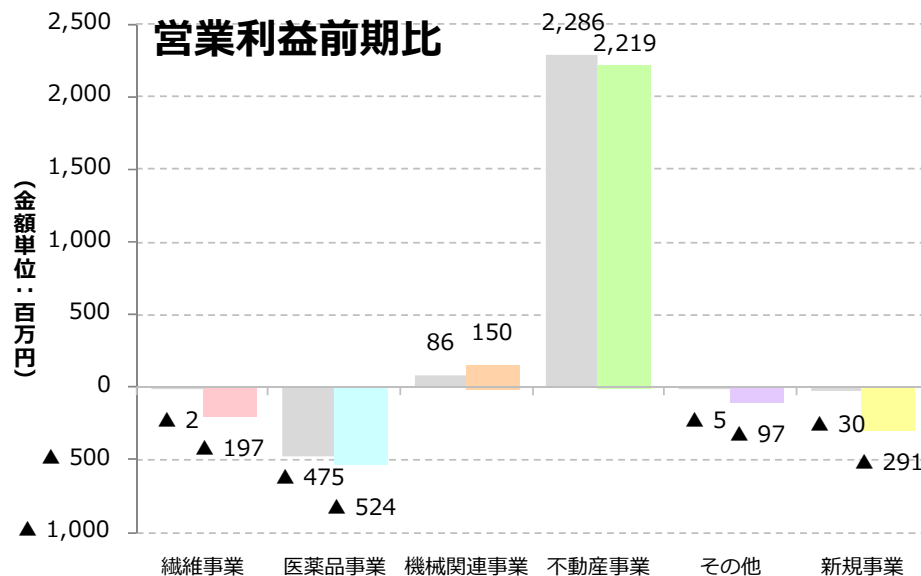
- ・後発品使用促進政策強化により、狭心症治療剤「アイトロール錠」を始めとする主力の長期収載品が低迷

連結損益計算書 | セグメント別営業利益実績



(金額単位：百万円)

	2015実績	2014実績	前年増減	2015予想	予想との差異
	A	B	A-B	C	A-C
営業利益	▲ 190	404	▲ 594	▲ 100	▲ 90
繊維事業	▲ 197	▲ 2	▲ 195	▲ 200	3
医薬品事業	▲ 524	▲ 475	▲ 49	▲ 300	▲ 224
機械関連事業	150	86	64	150	0
不動産事業	2,219	2,286	▲ 67	2,150	69
その他	▲ 97	▲ 5	▲ 92	▲ 90	▲ 7
新規事業	▲ 291	▲ 30	▲ 261	▲ 360	69
調整額	▲ 1,450	▲ 1,455	5	▲ 1,450	0



【繊維】
・増収も円安の影響による仕入原価の高騰等により減益

【機械関連】
・大幅な増収も消防自動車で外注費等の製造コストの増加により若干の増益に留まる

【不動産】
・コクーン2・3の開業による増収も、償却・開業販促費用の増加により減益

【新規】
・事業立上げに伴う償却負担や広告宣伝費の増加等により減益

【医薬品】
・減収による売上原価率の上昇

連結貸借対照表



社有地開発に伴い、固定資産・借入金が増加

(金額単位：百万円)

		2015	2014	前年増減
		A	B	A-B
流動資産		55,290	51,689	3,601
固定資産		95,646	87,084	8,562
	有形固定資産	53,401	44,792	8,609
	無形固定資産	848	1,188	▲ 340
	投資その他の資産	41,397	41,103	294
	投資有価証券	37,490	38,498	▲ 1,008
資産合計		150,936	138,773	12,163
負債合計		71,632	60,241	11,391
	借入金	23,345	15,512	7,833
	預り敷金保証金	9,833	9,202	631
純資産合計		79,304	78,531	773
	その他有価証券評価差額金	17,508	17,491	17
負債・純資産合計		150,936	138,773	12,163

【有形固定資産】
・コクーン2の大型設備投資に伴う取得が主

【借入金】
・コクーン2の大型設備投資の資金調達に伴う借入金の増加が主

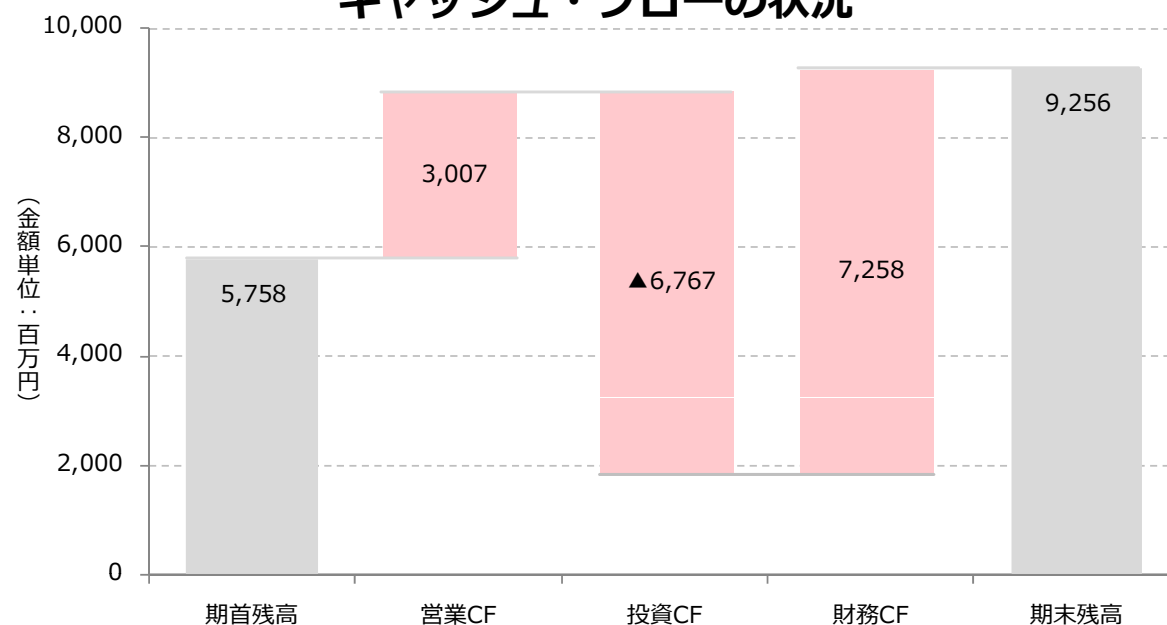
連結キャッシュフロー計算書



(金額単位：百万円)

	2014実績	2015実績
現金及び現金同等物の期首残高	7,633	5,758
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,111	3,007
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 7,083	▲ 6,767
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,097	7,258
現金及び現金同等物の増減額	▲ 1,874	3,498
現金及び現金同等物の期末残高	5,758	9,256

キャッシュ・フローの状況



【営業CF】

- ・主に営業収益を確保できたことによる

【投資CF】

- ・有形固定資産の取得 ▲103億円
- ・有価証券の取得 ▲20億円
- ・定期預金の減少（資金増） +55億円
- ・投資有価証券売却による収入 +10億円

【財務CF】

- ・長期借入れによる収入 +85億円
- ・長期借入金の返済 ▲10億円
- ・配当金の支払い ▲4億円

設備投資額・減価償却費・研究開発費



社有地開発に伴い設備投資が増加

(金額単位：百万円)

		2015実績	2014実績	前年増減
		A	B	A-B
設備投資額		14,430	7,046	7,384
	医薬品事業	950	1,676	▲ 726
	不動産事業	12,290	4,796	7,494
	その他のセグメント	1,190	574	616

【不動産】
・コクーン2の大型設備投資

減価償却費		3,842	2,955	887
	医薬品事業	1,458	1,478	▲ 20
	不動産事業	1,884	1,140	744
	その他のセグメント	500	337	163

【不動産】
・コクーン2の償却開始

研究開発費		3,138	3,120	18
	医薬品事業	2,684	2,538	146
	新規事業	196	374	▲ 178
	その他のセグメント	258	208	50

【医薬品】
・適応拡大に伴う臨床試験費用

【新規事業】
・新規事業の創出に関連した調査、研究費用

2. 2016年12月期 通期業績予想

連結損益計算書 | 通期予想

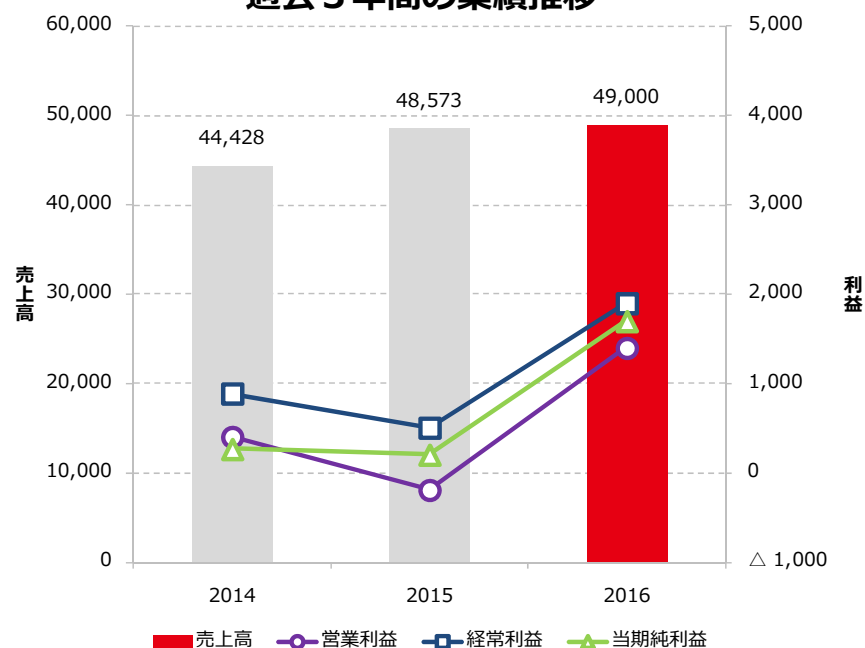


新S Cが通年寄与し増収・増益見込み。

(金額単位：百万円)

	2016予想		2015実績		前年増減	2014実績	
	A	売上比	B	売上比	A-B	C	売上比
売上高	49,000	100.0%	48,573	100.0%	427	44,428	100.0%
営業利益	1,400	2.9%	▲ 190	▲ 0.4%	1,590	404	0.9%
経常利益	1,900	3.9%	507	1.0%	1,393	890	2.0%
当期純利益	1,700	3.5%	226	0.5%	1,474	268	0.6%

過去3年間の業績推移



【売上高】

- ・不動産 + 13億円
- ・医薬品 + 6億円
- ・機械関連 ▲ 22億円

【営業利益】

- ・不動産 + 7億円
- ・医薬品 + 7億円

【当期純利益】

- ・固定資産処分損の減

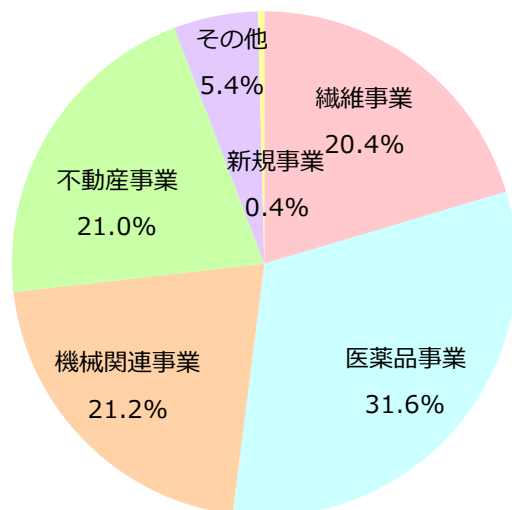
連結損益計算書 | セグメント別売上高予想



(金額単位：百万円)

	2016予想		2015実績		前年増減	2014実績	
	A	構成比	B	構成比	A-B	C	構成比
売上高	49,000	100.0%	48,573	100.0%	427	44,428	100.0%
繊維事業	10,000	20.4%	9,652	19.9%	348	9,524	21.4%
医薬品事業	15,500	31.6%	14,903	30.7%	597	14,709	33.1%
機械関連事業	10,400	21.2%	12,607	26.0%	▲ 2,207	9,764	22.0%
不動産事業	10,300	21.0%	8,982	18.5%	1,318	7,363	16.6%
その他	2,600	5.3%	2,375	4.9%	225	3,062	6.9%
新規事業	200	0.4%	52	0.1%	148	4	0.0%

セグメント別売上高構成比



【繊維】

- ・新規開拓の推進

【医薬品】

- ・新たに製造販売承認承継(2016/4)するシベノールの増

【機械関連】

- ・前年は大容量送水ポンプ車の受注があったため減

【不動産】

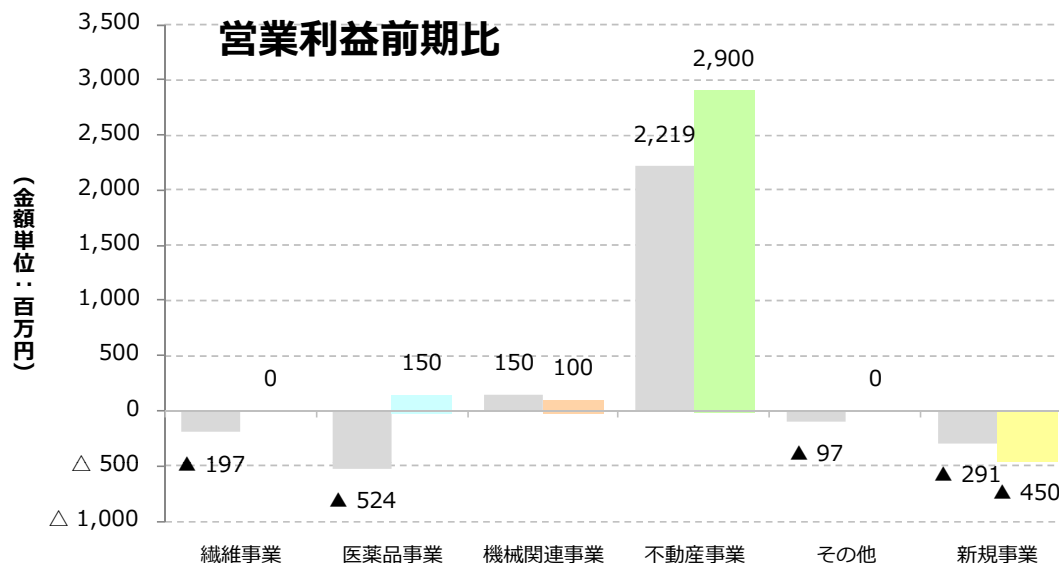
- ・コクーン2・3の通年寄与

連結損益計算書 | セグメント別営業利益予想



(金額単位：百万円)

	2016予想	2015実績	前年増減	2014実績
	A	B	A-B	C
営業利益	1,400	▲ 190	1,590	404
繊維事業	0	▲ 197	197	▲ 2
医薬品事業	150	▲ 524	674	▲ 475
機械関連事業	100	150	▲ 50	86
不動産事業	2,900	2,219	681	2,286
その他	0	▲ 97	97	▲ 5
新規事業	▲ 450	▲ 291	▲ 159	▲ 30
調整額	▲ 1,300	▲ 1,450	150	▲ 1,455



【繊維】

- ・新規開拓の推進

【医薬品】

- ・増収に加え研究開発費の減による増益

【不動産】

- ・コクーン2・3の通年寄与及び前年は開業一時費用があったため
- ・松本開発の賃料の通年寄与

設備投資額・減価償却費・研究開発費予想



大型の社有地開発完了に伴い設備投資が減少

(金額単位：百万円)

	2016予想	2015実績	前年増減
	A	B	A-B
設備投資額	3,240	14,430	▲ 11,190
医薬品事業	600	950	▲ 350
不動産事業	1,810	12,290	▲ 10,480
その他のセグメント	830	1,190	▲ 360

【不動産】
・前年にコクーン2の大型設備投資あり

減価償却費	4,090	3,842	248
医薬品事業	1,400	1,458	▲ 58
不動産事業	2,130	1,884	246
その他のセグメント	560	500	60

【不動産】
・コクーン2の償却費が通年負担

研究開発費	2,790	3,138	▲ 348
医薬品事業	2,400	2,684	▲ 284
新規事業	80	196	▲ 116
その他のセグメント	310	258	52

【医薬品】
・適応拡大に伴う臨床試験費用

3. 中期経営計画「カタクラ2016」進捗状況

「カタクラ2016」について



ビジネスプロジェクト (2012→2016)

2013年3月竣工
東京スクエアガーデン



2013年9月発売
ピソノテープ(新薬)



2015年開業
さいたま新都心駅前社有地第二期開発



2017年開業予定
松本社有地開発



基本戦略

成長事業への転換

- 多様化する顧客ニーズに対応し、特定領域でのNo.1を目指す
- 既存事業のビジネスモデルを見直し、成長事業へシフトすることで、収益基盤を強化する
- 新興国市場の開拓を推進する

新規事業の創出

- 多角化した事業のシナジーを効かせ、新規事業を創出する
- 人々の潜在ニーズに応え、独創的な製品やサービスを提供することで、成長事業を創出する
- 長期的な展望のもとでカタクラグループの新たな柱となる事業を創出する

数値計画



(金額単位：百万円)

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2016中計
	実績	実績	実績	実績	実績	予想	
売上高	47,790	47,226	47,878	44,428	48,573	49,000	61,000
繊維事業	11,226	10,160	10,398	9,524	9,652	10,000	12,000
医薬品事業	17,790	16,399	16,544	14,709	14,903	15,500	22,000
機械関連事業	7,852	10,064	10,216	9,764	12,607	10,400	9,200
不動産事業	6,818	6,759	7,000	7,363	8,982	10,300	10,000
その他	4,102	3,842	3,718	3,062	2,375	2,600	4,600
新規事業	-	-	-	4	52	200	3,200

(金額単位：百万円)

	2011		2012		2013		2014		2015		2016		2016中計	
	実績	利益率	実績	利益率	実績	利益率	実績	利益率	実績	利益率	予想	利益率		利益率
営業利益	2,181	4.6%	1,837	3.9%	1,537	3.2%	404	0.9%	▲ 190	-	1,400	2.9%	4,200	6.9%
繊維事業	270	2.4%	267	2.6%	152	1.5%	▲ 2	-	▲ 197	-	0	0.0%	500	4.2%
医薬品事業	1,405	7.9%	548	3.3%	359	2.2%	▲ 475	-	▲ 524	-	150	1.0%	2,400	10.9%
機械関連事業	▲ 232	-	283	2.8%	381	3.7%	86	0.9%	150	1.2%	100	0.8%	250	2.7%
不動産事業	2,028	29.7%	2,154	31.9%	2,105	30.1%	2,286	31.0%	2,219	24.7%	2,900	32.3%	2,500	25.0%
その他	▲ 37	-	91	2.4%	33	0.9%	▲ 5	-	▲ 97	-	0	0.0%	150	3.3%
新規事業	0	-	-	-	-	-	▲ 30	-	▲ 291	-	▲ 450	-	150	4.7%
調整額	▲ 1,254	-	▲ 1,507	-	▲ 1,494	-	▲ 1,455	-	▲ 1,450	-	▲ 1,300	-	▲ 1,750	-

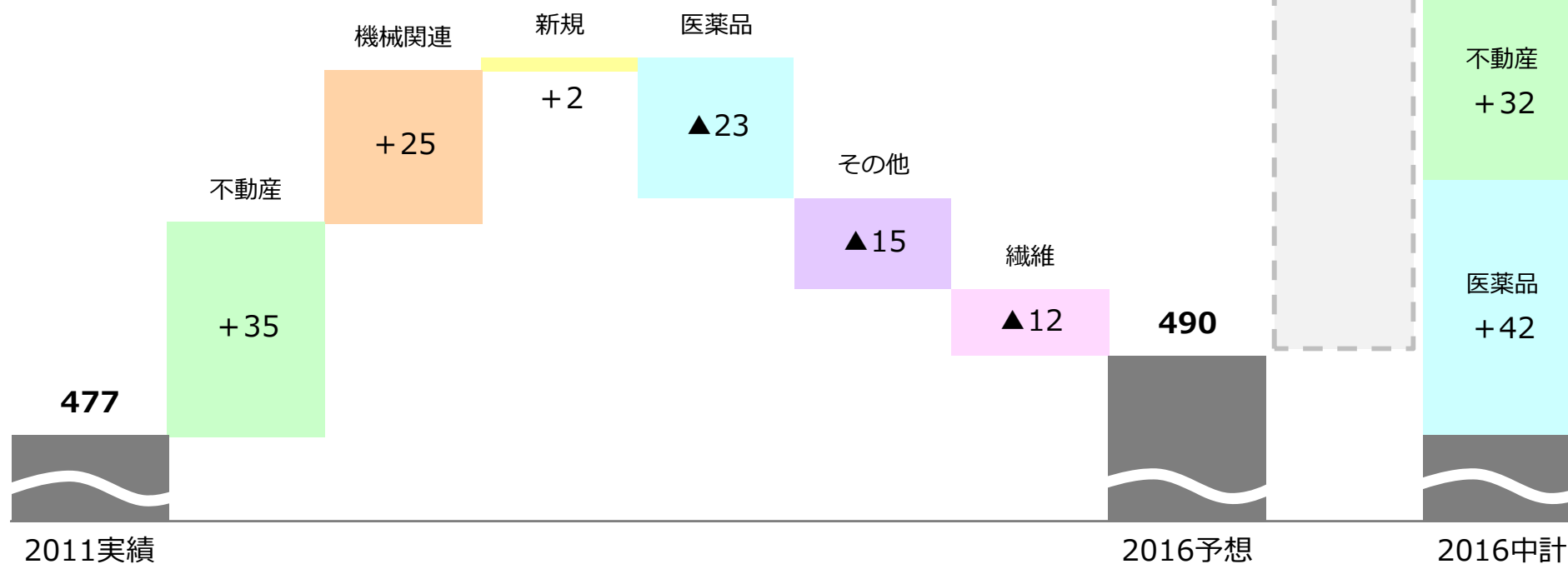
中計進捗サマリー | 売上高



■ 2011年度実績からの増減

(単位：億円)

- 不動産 : 大型開発プロジェクトの着実な実行により伸長
- 機械関連 : 震災以降の特需継続により好調
- 新規 : 事業の立ち上げ遅れ
- 医薬品 : 後発品使用促進政策強化による長期収載品の減収
新薬ビソノテープの市場浸透遅れ



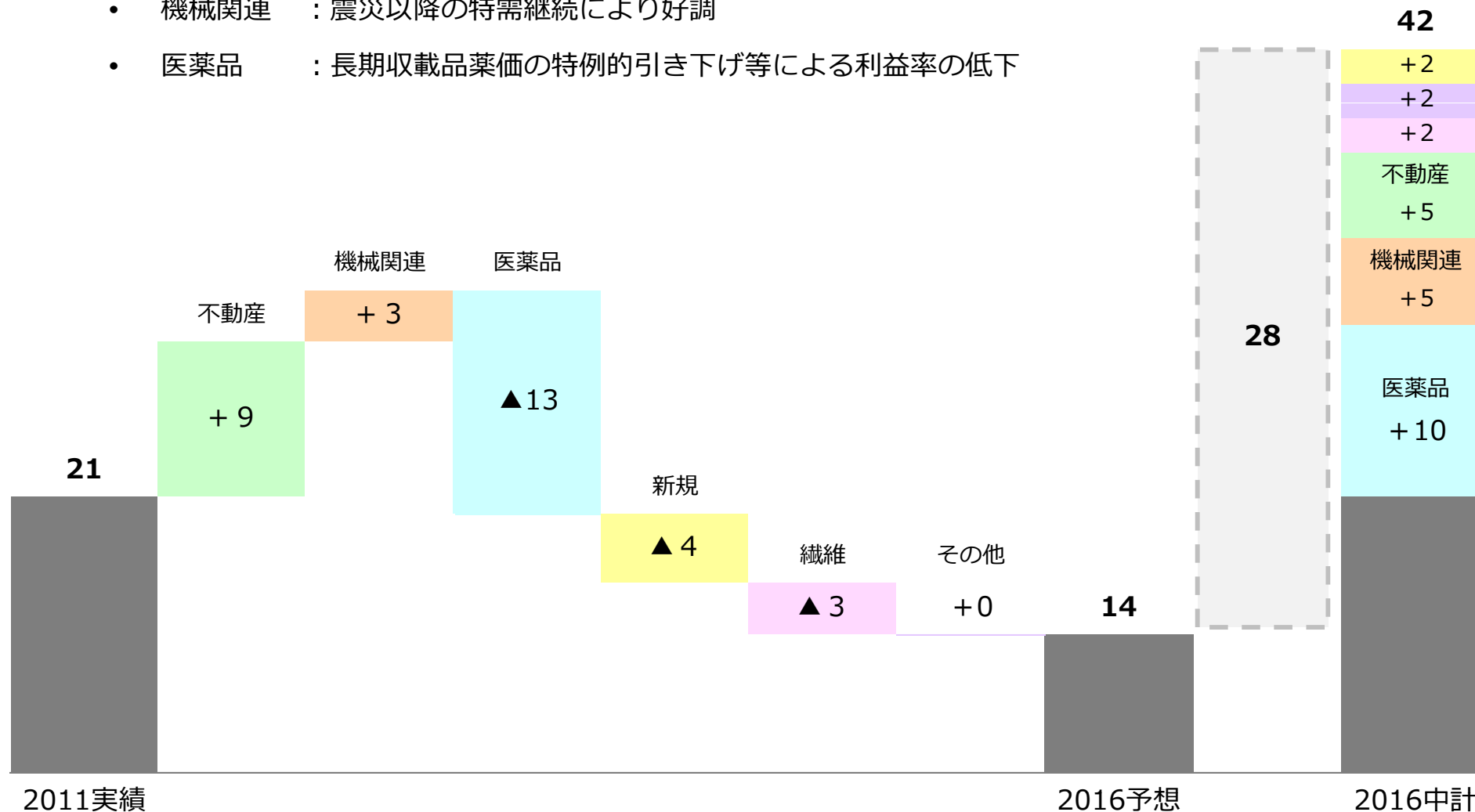
中計進捗サマリー | 営業利益



(単位：億円)

■ 2011年度実績からの増減

- 不動産 : 大型開発プロジェクトの着実な実行により伸長
- 機械関連 : 震災以降の特需継続により好調
- 医薬品 : 長期収載品薬価の特例的引き下げ等による利益率の低下



セグメント別進捗 | 医薬品事業



セグメント別戦略

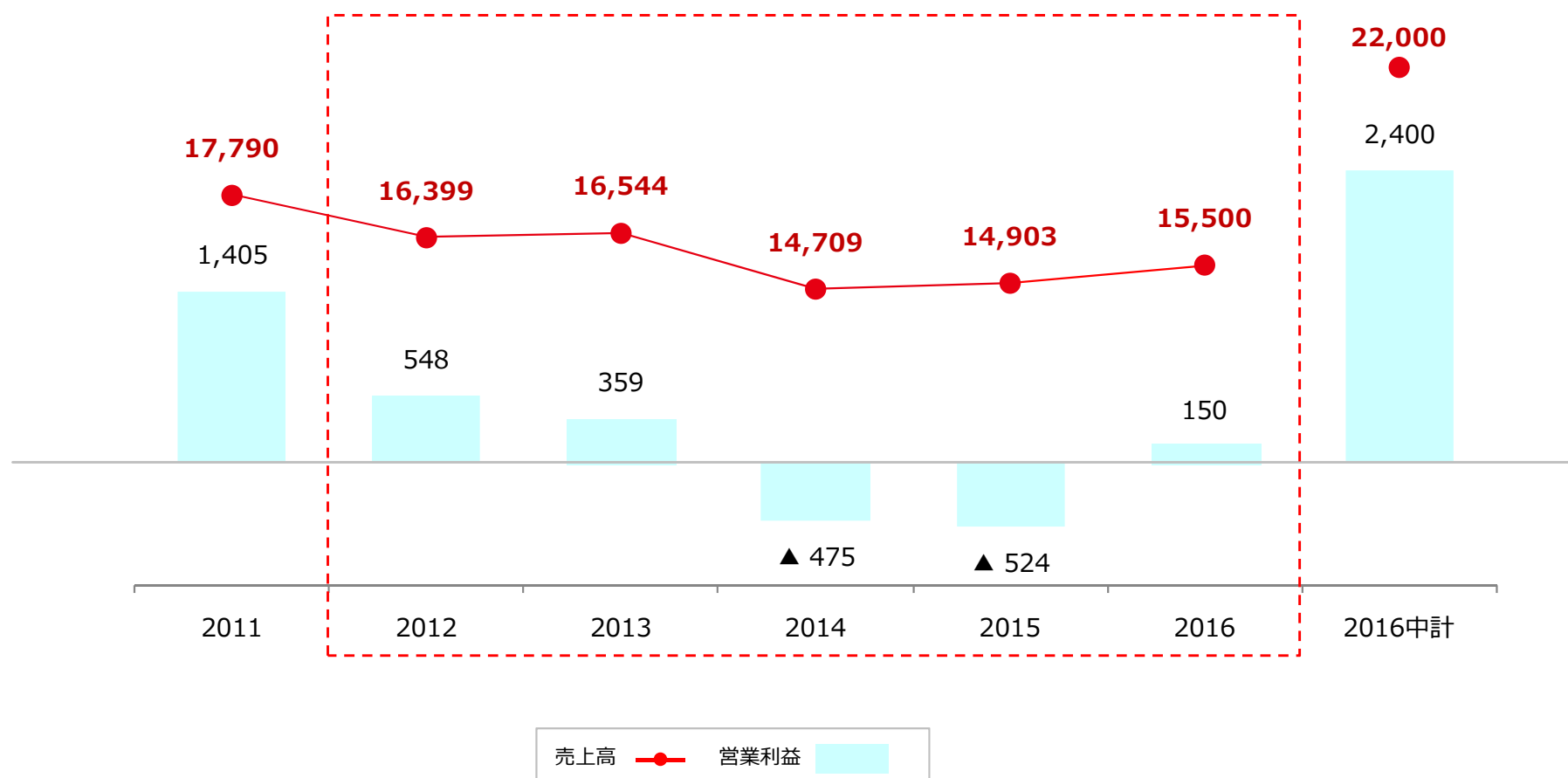
- 継続的に新薬を上市できる研究開発体制の確立
- 循環器領域での独自の営業体制の確立により市場シェアを獲得
- 他社ライセンスの導入により製品ラインナップを拡充

進捗状況

- 売上高と営業利益の推移（単位：百万円）

2016中計との乖離と要因

- 売上高▲65億円、営業利益▲22.5億円
- 後発品使用促進政策強化による影響
 - ・ 長期収載品の売上数量の大幅な減少
 - ・ 薬価の特例的引下げ
- ビソノテープの市場浸透遅れ



セグメント別進捗 | 医薬品事業



分類	内容	特徴	進捗状況
新薬	TY-0201 ビスノテープ 4 mg・ビスノテープ 8 mg	・日本初の経皮吸収型降圧剤	・2013年9月発売
付加価値後発品	ピモベンダン錠0.625mg「TE」	・経口心不全治療薬 ・既存品の半量製剤	・2014年1月発売
付加価値後発品	ジゴキシン錠0.0625「KYO」	・心不全・不整脈治療向け強心配糖体製剤 ・既存品の半量製剤	・2015年1月発売
付加価値後発品	メトホルミン塩酸塩錠 250mgMT「TE」 メトホルミン塩酸塩錠 500mgMT「TE」	・経口糖尿病用剤	・2015年6月発売
付加価値後発品	ニトログリセリン静注 25mg/50mL シリンジ「TE」	・ニトログリセリンをシリンジに充填した 静注用のシリンジ製剤	・2016年2月製造販売承認取得
ライセンス導入	シンビット静注用50mg	・不整脈治療剤	・2014年4月製造販売承認承継
ライセンス導入	シベノール錠50mg・シベノール錠100mg シベノール静注70mg	・不整脈治療剤	・2016年4月製造販売承認承継



ビスノテープ4mg・ビスノテープ8mg



メトホルミン塩酸塩錠 250mgMT「TE」(上左画像)
メトホルミン塩酸塩錠 500mgMT「TE」(上右画像)

セグメント別進捗 | 繊維事業



セグメント別戦略

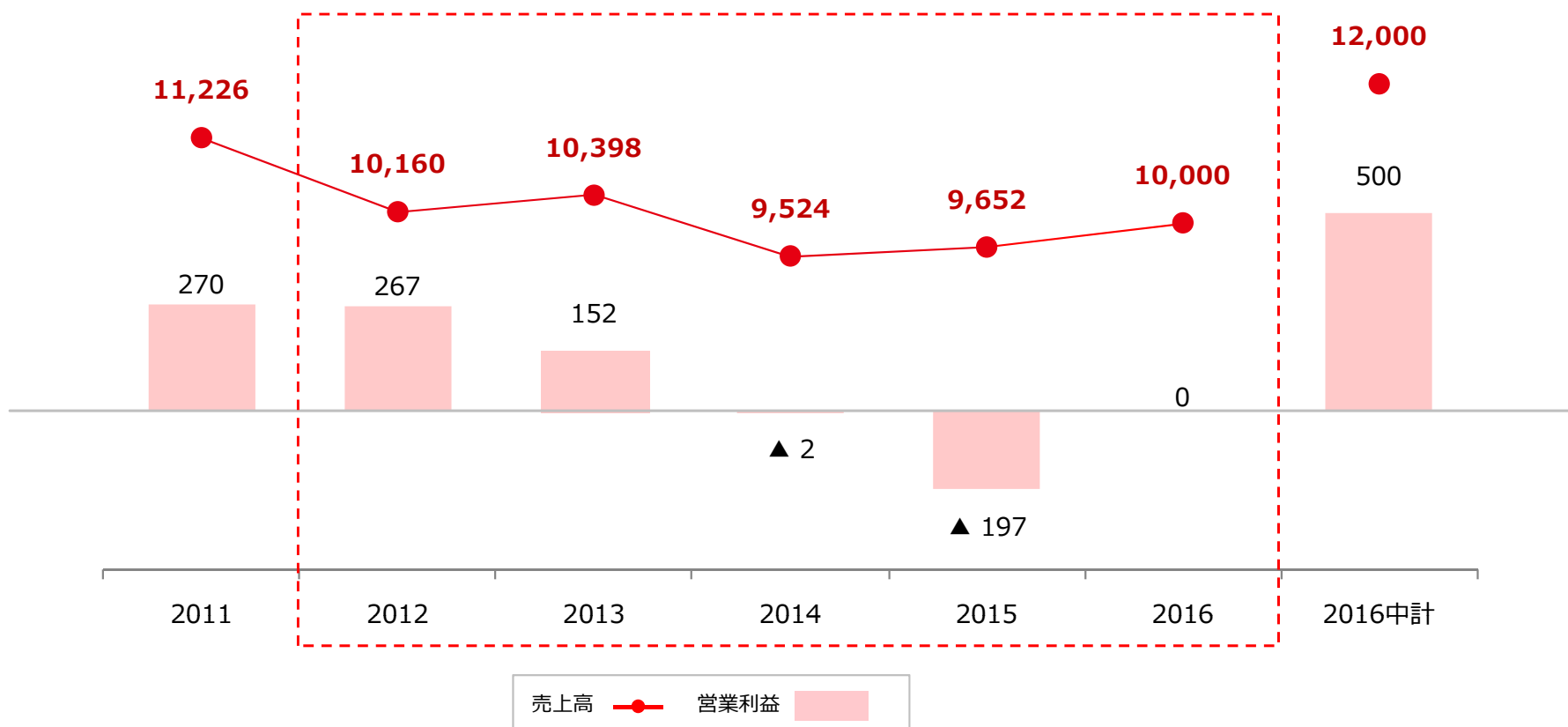
- 疲労軽減や快適性向上等の機能性製品を強化する
- 在庫回転率の向上と物流の効率化に取り組む
- 新たな高機能素材を開発と耐熱性繊維の用途開発に取り組む（ニチビ）
- アジアを中心とした海外マーケットへ本格進出する

2016中計との乖離と要因

- 売上高▲20億円、営業利益▲5億円
- 急激な円安の進行による原価率の上昇
- 新規取引先開拓の遅れ

進捗状況

- 売上高と営業利益の推移（単位：百万円）



セグメント別進捗 | 繊維事業



〔補足資料〕 USD/JPYの推移



2011/12/1
(中計発表時)

77.68円

2015/12/31

120.21円

新規事業の創出

具体的な戦略

- 多角化した事業のシナジーを効かせる
- 人々の潜在ニーズに応え、独創的な製品やサービスを提供する
- 長期的な展望のもとでグループの新たな柱となる事業を創出する

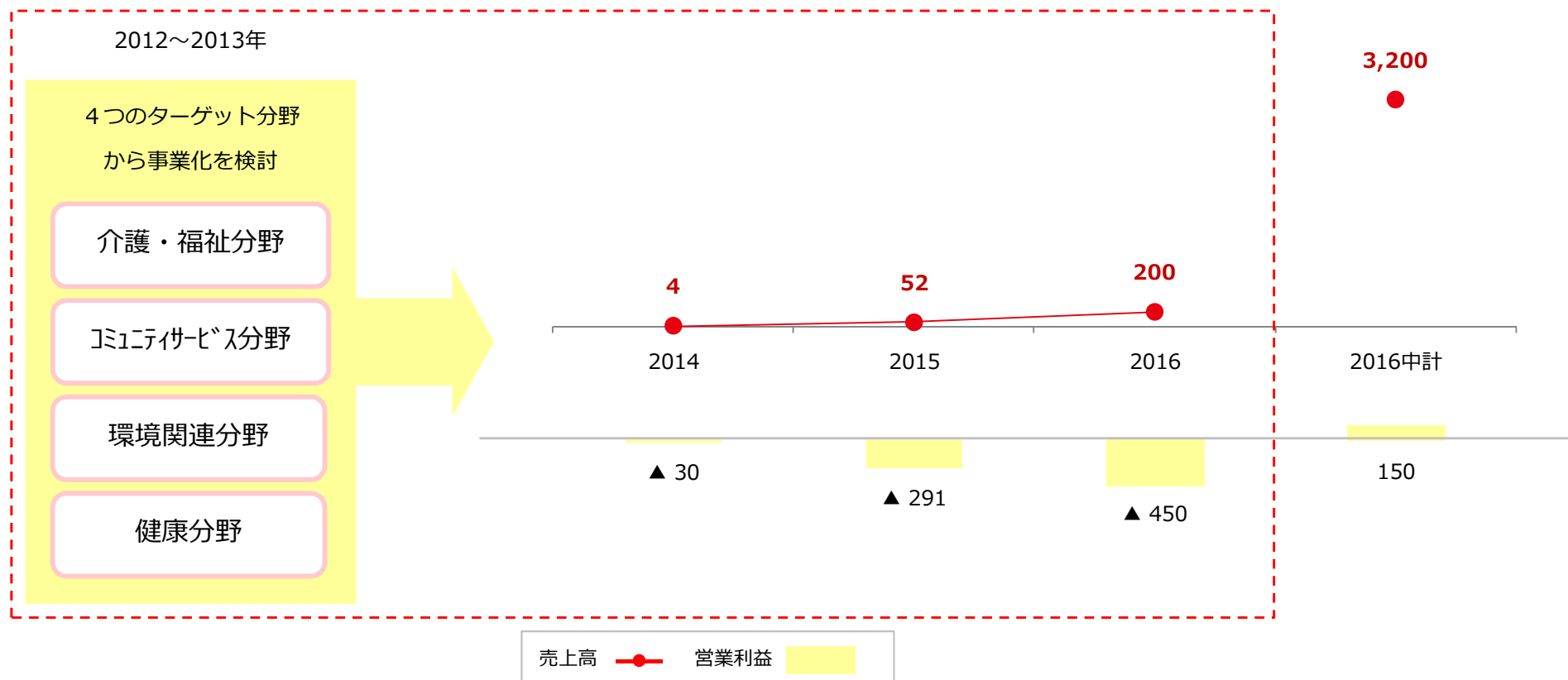


2016中計との乖離と要因

- 売上高▲30億円、営業利益▲6億円
- 多角化した事業のシナジーを活かし「アグリ」「ヘルス」ビジネス領域において、新規で5事業をスタート
- 想定より事業化が後ズレしたため、中計数値とは乖離

進捗状況

- 売上高と営業利益の推移（単位：百万円）



新規事業の創出



担当チーム	案件	内容・特徴	事業化	現況	事業開始（予定）
ヘルス ビジネス	デイサービス （西大井）	・ 社有未利用地の有効活用 ・ 自社運営の通所介護施設	○	・ 利用者の定着化推進	2014年 9 月
ヘルス ビジネス	化粧品企画販売事業	・ シルク成分及び自社ハチミツ配合 ・ スキンケア化粧品「絹蜜」ブランド	○	・ 販促活動推進	2014年10月
ヘルス ビジネス	デイサービス （武蔵境）	・ 社有未利用地の有効活用 ・ 自社運営の通所介護施設	○	・ 利用者の定着化推進	2015年 3 月
アグリ ビジネス	はなびらたけ 生産販売事業	・ 高品質、低コストの工場きこ栽培 ・ 温度、湿度、CO2濃度の自動調整	○	・ 群馬県内に工場開設 ・ 量産開始	2015年 6 月
アグリ ビジネス	低カリウムレタス FC方式生産事業	・ 生産規模 4,500株／日 ・ クリーンルームで生産	○	・ 埼玉県内に工場開設 ・ 量産開始	2015年 7 月
ヘルス ビジネス	オストメイト対応型 便座企画販売事業	・ 排泄処理作業の負担軽減 ・ 在宅、施設、病院等の介護支援	○	・ 販路開拓中	2015年11月

アグリ
ビジネス



低カリウムレタス



はなびらたけ



絹蜜（洗顔石鹸・オールインワンジェル）



デイサービス（武蔵境）

ヘルス
ビジネス



前広便座（いい安座）

セグメント別進捗 | 不動産事業



セグメント別戦略

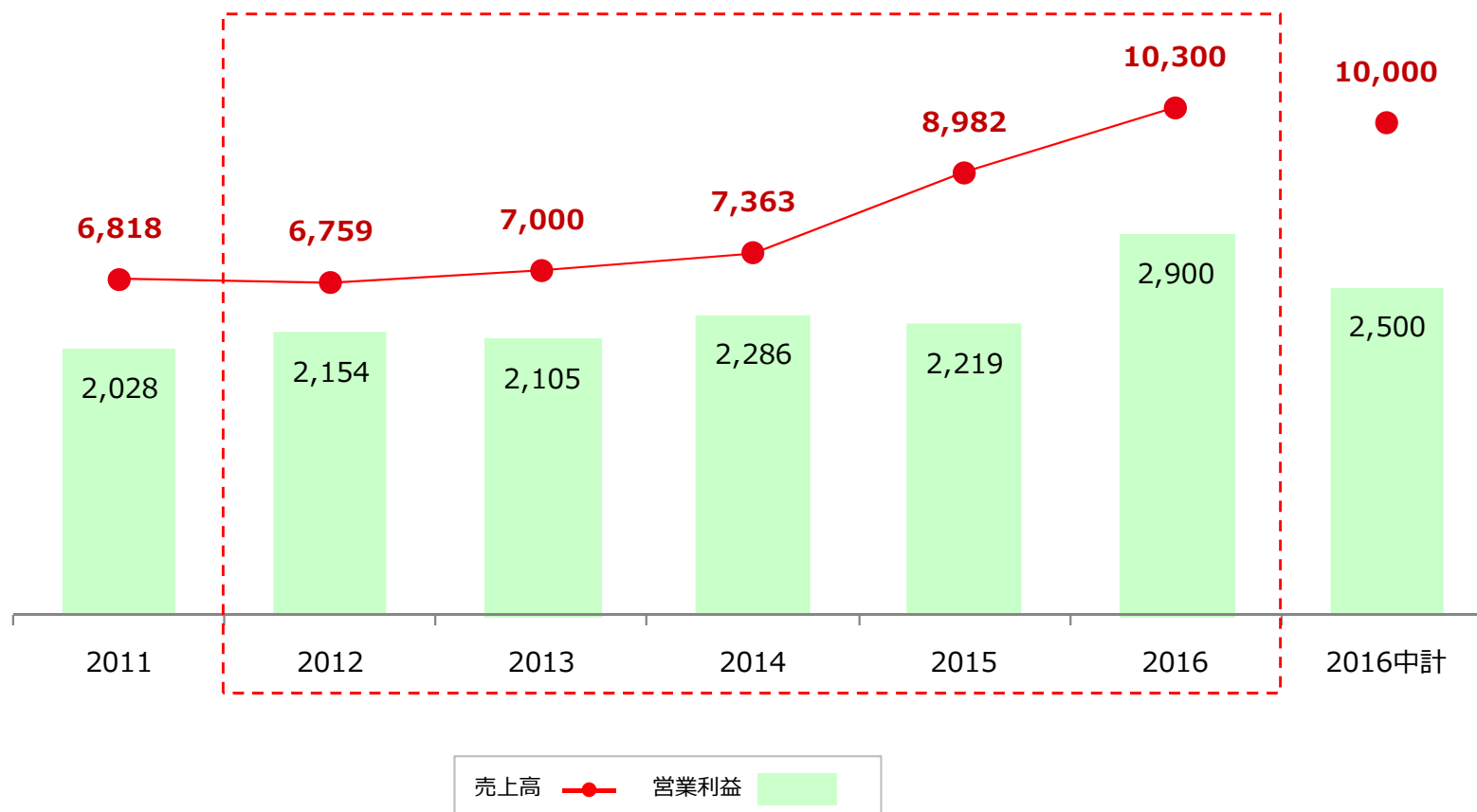
- 大型社有地開発プロジェクトを中心とした不動産事業を確実に展開
- 既存施設の鮮度向上に努め、安定した収益力を維持

進捗状況

- 売上高と営業利益の推移（単位：百万円）

2016中計との乖離と要因

- **売上高 + 3 億円、営業利益 + 4 億円**
- 順調に大型社有地開発プロジェクトを展開
- メガソーラーや介護施設など多様な開発を推進
- 小規模社有地についても着実に開発を進展
- 2015年は新S Cの開業販促費等で減益も、順調に中計を達成見込み



セグメント別進捗 | 不動産事業



所在地	形態／用途	賃貸先(施設名称等)	建物概要	敷地面積	賃貸面積	開業他
埼玉県さいたま市	土地賃貸／ネットワークセンター	ソフトバンクモバイル(株)	—	約7,790㎡	約7,790㎡	2013年1月 賃貸開始
東京都中央区	共同所有／複合ビル	オフィス・商業テナント (東京スクエアガーデン)	地上24階 地下4階	約8,130㎡	約62,200㎡ (オフィスのみ)	2013年4月 開業
鹿児島県曽於市	土地賃貸／メガソーラー	SFソーラーパワー(株)	—	約50,800㎡	約50,800㎡	2013年10月 賃貸開始
東京都三鷹市	自社開発／賃貸住宅	(コクーンテラス井の頭)	地上2階	約1,700㎡	約1,300㎡	2015年4月 賃貸開始
埼玉県さいたま市	自社開発／商業施設	(コクーンシティ)	※詳細は次ページ以降参照			2015年4月24日 コクーン2 開業 2015年7月17日 コクーン3 開業
埼玉県さいたま市	建物賃貸／介護施設	(株)ニチイ学館	地上3階	約3,750㎡	約4,500㎡	2015年6月 賃貸開始
長野県松本市	土地賃貸／商業施設 (一部自社開発予定)	イオンモール(株)	未定	約85,670㎡	約62,530㎡	2015年11月 賃貸開始
東京都三鷹市	建物賃貸／介護施設	(株)ベネッセスタイルケア	地上3階	約2,670㎡	約2,500㎡	2017年 賃貸開始予定



- 稼働率
 - ・オフィス : 95%弱
 - ・商業テナント : 100%
- 主な賃貸先
 - ・(株)ブリヂストン
 - ・サントリー食品インターナショナル(株)
 - ・東芝三菱電機システム(株)ほか
- 当社シェア 11.18%

東京都中央区
東京スクエアガーデン



東京都三鷹市 コクーンテラス井の頭

セグメント別進捗 | 不動産事業



〔さいたま新都心駅前社有地開発〕 駅周辺に多様な施設が展開し、エリア魅力がさらに向上

社有地全体 142,600㎡(約43,000坪) ※私有地・公道を除く ※(P1)~(P4):コクーンシティ駐車場



第一期開発
約33,000㎡
(約10,000坪)

第二期開発
約68,000㎡
(約20,000坪)

第三期開発
約18,000㎡
(約5,500坪)

a. コクーン1 b. コクーン2 c. コクーン3 d. パークサイドビル e. レクサスさいたま新都心 f. フォルクスワーゲンさいたま新都心
g. ガーデンヒルズ迎賓館 h. さいたま新都心コクーンシティ住宅展示場 i. オフィスビル j. ニチイホーム アイリスガーデン k. デイリーヤマザキ

COCOON CITY
Saitama-Shintoshin

セグメント別進捗 | 不動産事業



〔さいたま新都心駅前社有地開発〕 直営のS Cに加え多様な機能を備えた「コクーンシティ」

2004年9月開業



cocoon 1

営業面積	約23,000㎡
階数	地上2階
テナント売上想定	約150億円
テナント数	約100店
設備投資額	約80億円

2015年4月24日開業



cocoon 2

営業面積	約35,000㎡
階数	地上3階
テナント売上想定	約200億円
テナント数	164店（開業時）
設備投資額	約155億円

2015年7月17日開業



cocoon 3

営業面積	約18,000㎡
階数	地上3階・地下1階
テナント売上想定	非公表
テナント	・ヨドバシカメラ ・マルベリーガーデン(直営) 他

■ その他の主要な賃貸施設

さいたま新都心
コクーンシティ住宅展示場



Volkswagen. Das Auto.



介護付有料老人ホーム
ニチイホーム
サービス付高齢者用住宅
アイリスガーデン

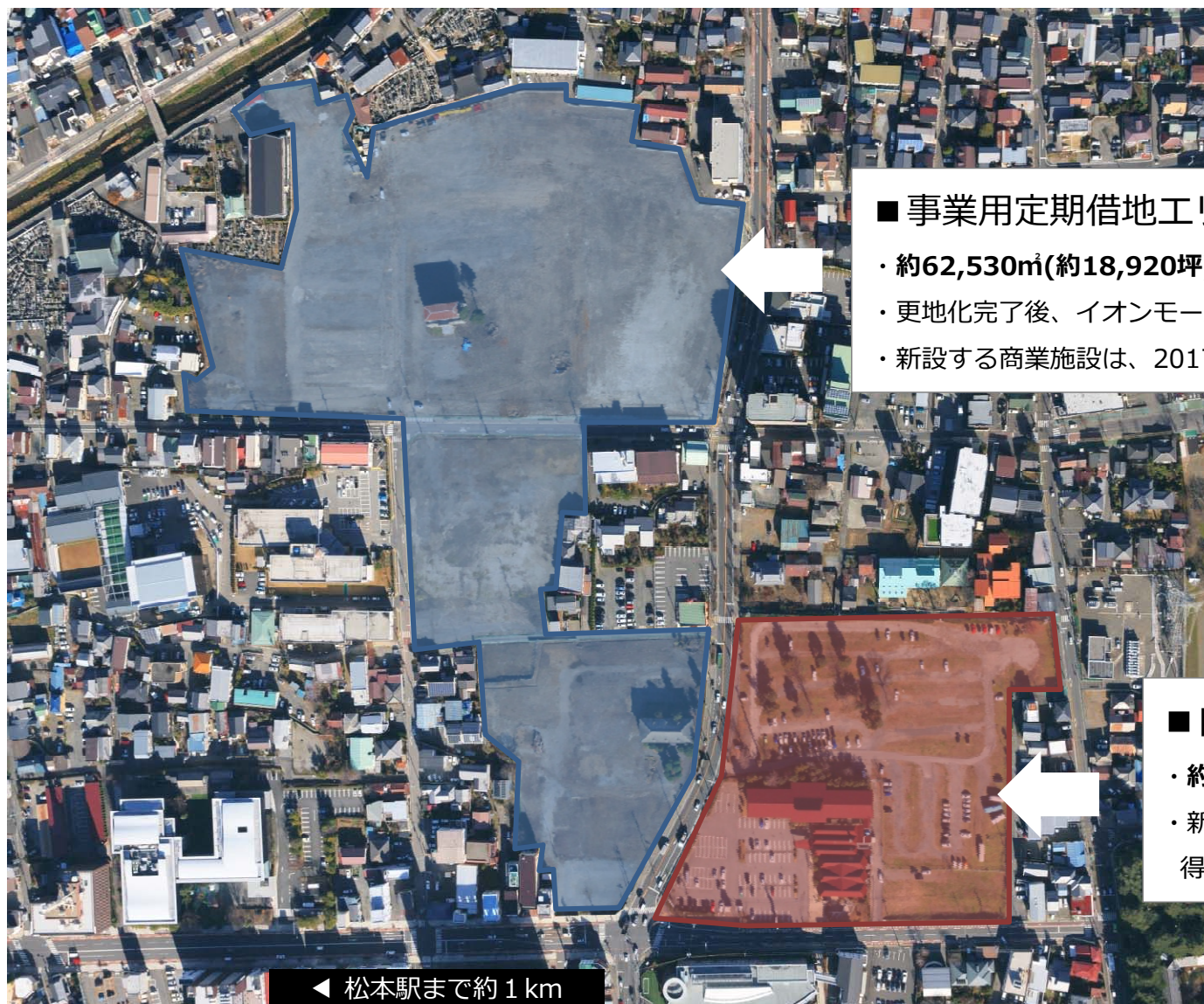


セグメント別進捗 | 不動産事業



〔松本社有地開発〕 既存施設の更地化が完了し、順調に進捗

不動産開発エリア 約85,670㎡(約25,920坪) ※公道等を除く



■ 事業用定期借地エリア

- ・ 約62,530㎡(約18,920坪)
- ・ 更地化完了後、イオンモール(株)へ土地賃貸中 (2015年11月～)
- ・ 新設する商業施設は、2017年開業予定

■ 自社開発エリア

- ・ 約23,140㎡(約7,000坪)
- ・ 新設する商業施設と相乗効果を発揮し得る計画を検討中

◀ 松本駅まで約1km

セグメント別進捗 | 機械関連事業



セグメント別戦略

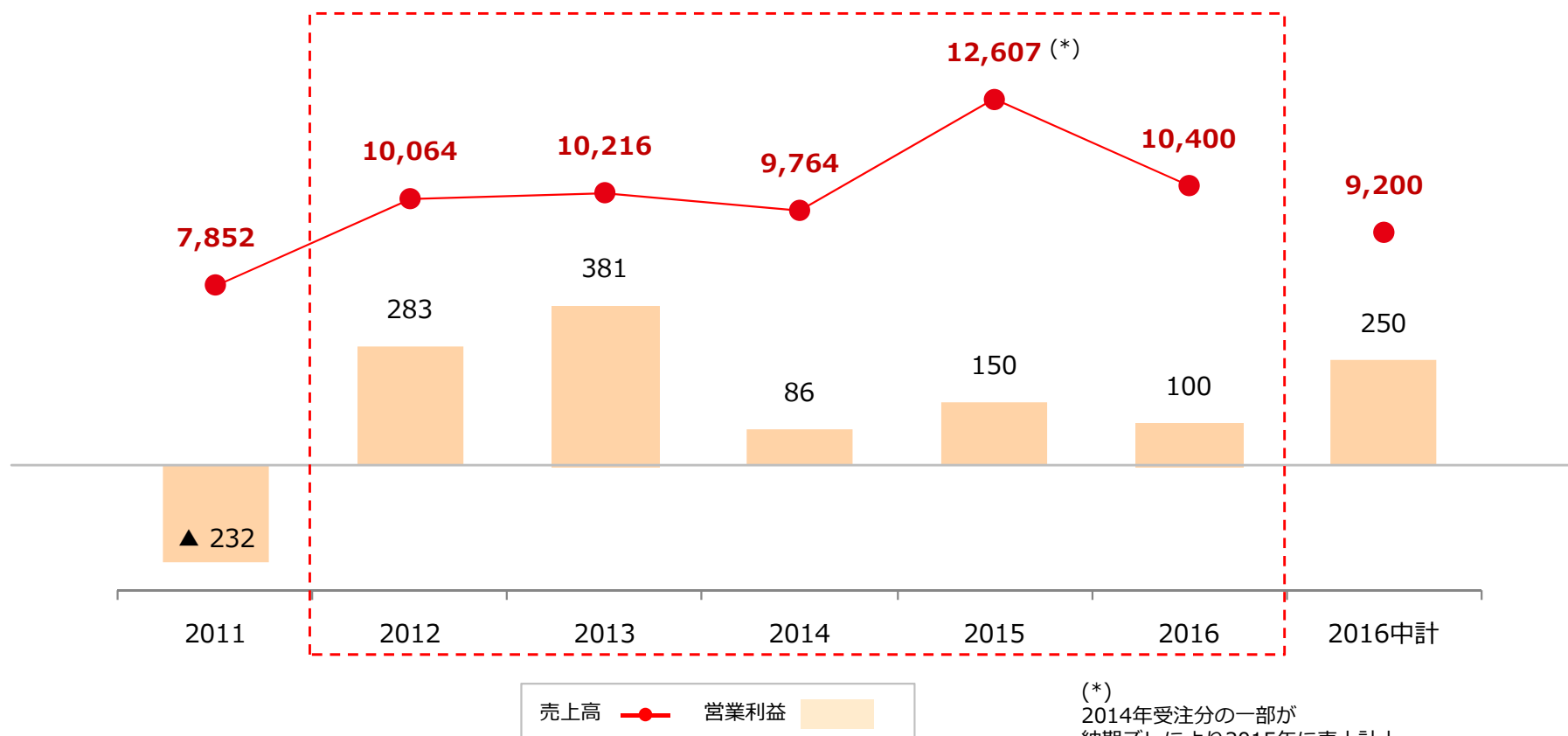
- 既存事業で培った技術を融合し、洗浄・清掃を切り口とした環境整備機器を開発する
- 消防自動車の技術をベースに特徴ある環境整備車両を開発し、ラインナップの拡充を図る
- 消防自動車の性能向上と消防資機材等の販売強化に取り組む
- アジアを中心とした海外マーケットへ進出する

2016中計との乖離と要因

- 売上高+12億円、営業利益▲1.5億円
- 消防自動車は防災意識の高まりによる需要増や民需による大容量送水ポンプ車の受注もあり増収
- トラック部品で不採算事業から段階的に撤退を進めているが、新規受注が振るわず利益低下

進捗状況

- 売上高と営業利益の推移（単位：百万円）



大容量水中ポンプシステム「Vowcan（ボーキャン）」の取り組み

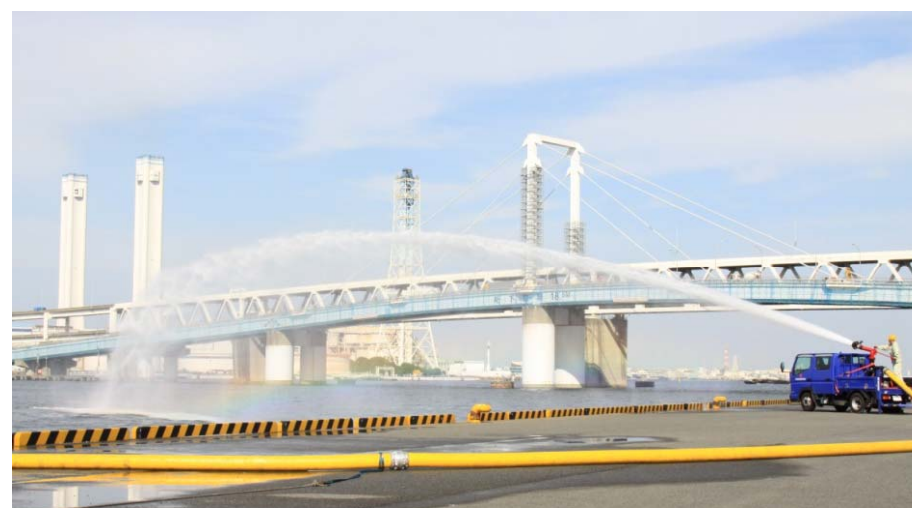


■ 使用例

- ・ 水没箇所からの大量排水
- ・ 渇水時における生活水の確保
- ・ 山間部など近くに水源が無い場所において、海や河川からの遠距離送水
- ・ ゲリラ豪雨や長雨などにより発生した洪水の排水
- ・ 河川の工事において、水の移動が必要な場合の送水

■ 開発の経緯と展開

- ・ 機械関連事業の工業用バルブや消防自動車等の製造で培った技術を活かし、大規模災害を想定した製品の研究に取り組み
- ・ 海や河川など無限水利からの取水や送水、また洪水による浸水時の排水ができる運搬式の油圧式水中ポンプシステムを開発
- ・ 国内外の展示会に出展
 - ①「防災産業展in仙台」（宮城県 仙台市） 2015/ 3
 - ②「Defense&Security2015」（タイ バンコク） 2015/11
- ・ 国内、海外への積極的なプロモーションを展開



放水テストの様様

設備投資額・減価償却費・研究開発費



(金額単位：百万円)

		2012	2013	2014	2015	2016	5年間合計	2012-16中計	
		実績	実績	実績	実績	予想		5年間	差異
設備投資額		2,818	5,236	7,046	14,430	3,240	32,770	29,500	3,270
	医薬品事業	666	1,230	1,676	950	600	5,122	6,000	▲ 878
	不動産事業	1,914	3,612	4,796	12,290	1,810	24,422	20,000	4,422
	その他のセグメント	238	394	574	1,190	830	3,226	3,500	▲ 274
減価償却費		2,708	2,830	2,955	3,842	4,090	16,425	15,500	925
	医薬品事業	1,481	1,399	1,478	1,458	1,400	7,216	6,000	1,216
	不動産事業	863	1,069	1,140	1,884	2,130	7,086	7,500	▲ 414
	その他のセグメント	364	362	337	500	560	2,123	2,000	123
研究開発費		3,069	2,905	3,120	3,138	2,790	15,022	17,500	▲ 2,478
	医薬品事業	2,502	2,323	2,538	2,684	2,400	12,447	14,500	▲ 2,053
	新規事業	390	407	374	196	80	1,447	1,600	▲ 153
	その他のセグメント	177	175	208	258	310	1,128	1,400	▲ 272

【不動産】
 ・東京スクエアガーデン
 ・コクーン2・3
 ・建築費の高騰も収支計画を上回る見込み
 ・その他の社有地開発にも着手

【医薬品】
 ・TY-0201：ビソノテープ
 ・TY-51924：開発中止に伴い費用減

【新規事業】
 ・新規事業創出に伴う調査・研究費

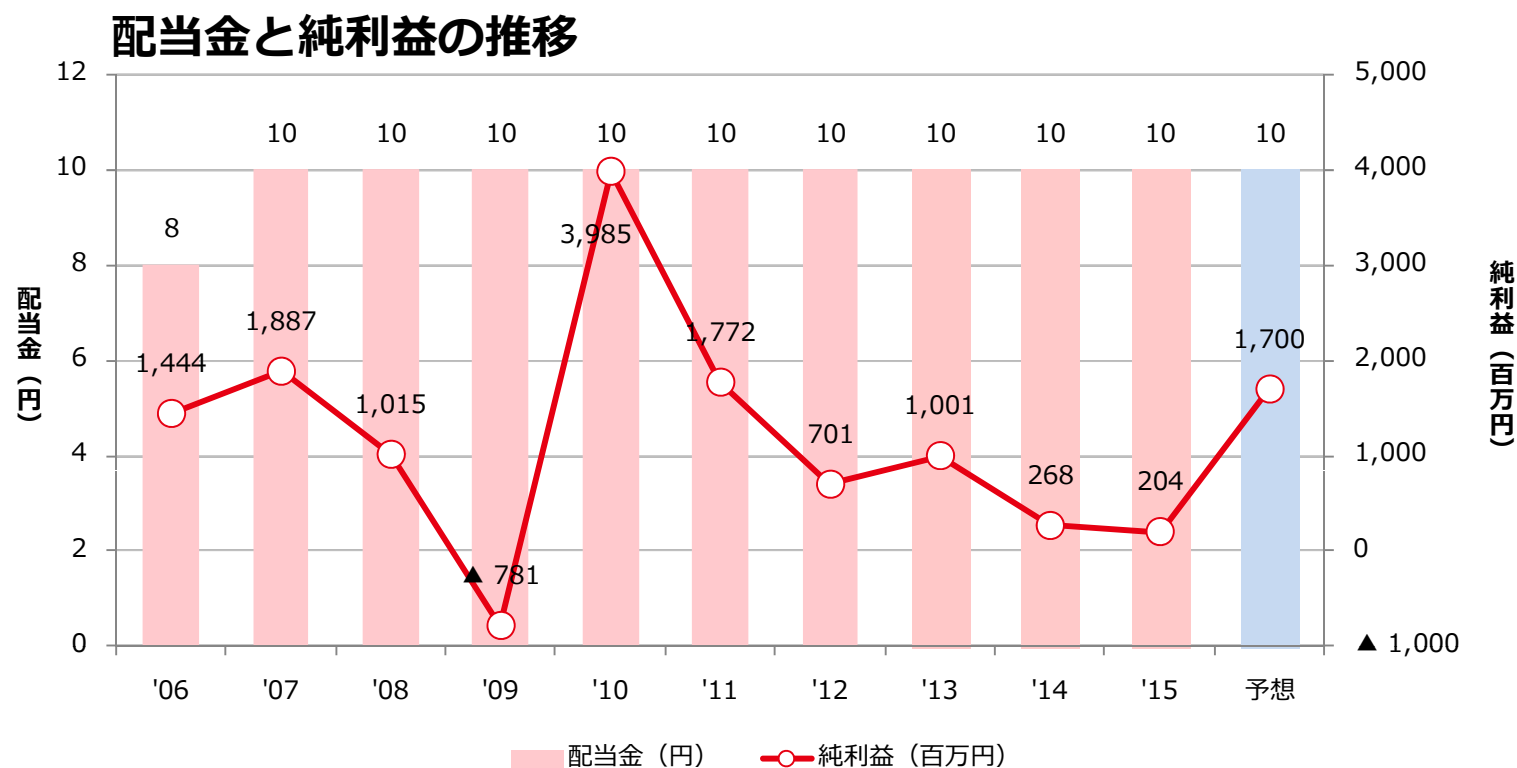
4. 株主還元について

利益配分の方針

業績や今後の事業展開、内部留保の水準等を総合的に勘案し、株主へ継続的に安定した配当を実施することを基本としております。

1株あたり配当金	2015年12月期実績
普通配当	10円00銭

1株あたり配当金	2016年12月期予想
普通配当	10円00銭



《参考資料①》 多角化の起源



創業 1873年（明治6年）

設立 1920年（大正9年）

カイト
垣外製糸場



生糸



富岡製糸場の保有
1939～2005年
（66年間）



生糸製造

生糸製造の伝統を受け継ぐ



蚕糸関連研究

優良蚕品種研究を活かす



繰糸機製造

自社開発の製造ノウハウを活かす



製糸工場

跡地を有効利用する

繊維事業

衣料品事業部

肌着、靴下の製造・販売

オグランジャパン(株)

カジュアルインナーの製造・販売

カフラス(株)

補整下着の製造・販売

(株)ニチビ

水溶性繊維、耐熱性繊維の製造・販売

医薬品事業

トーアエイヨー(株)

医療用医薬品の製造・販売

その他

生物科学研究所

訪花昆虫の販売等

機械関連事業

機械電子事業部

自動車部品の製造・販売
石油製品等の輸入販売

日本機械工業(株)

消防自動車の製造・販売

片倉機器工業(株)

農業用機械の製造・販売

不動産事業

商業施設事業部

ショッピングセンターの運営
不動産賃貸

不動産開発部

社有地の開発・活用

その他

小売事業部

小売業の運営

(株)片倉キャロンサービス

ビル管理サービス

《参考資料②》 カタクラグループの事業構成



繊維事業

シルクインナー



衣料品事業部

介護肌着



ライセンス製品



オグランジャパン(株)

補整下着



カフラス(株)

アルミナ長繊維（耐熱性繊維）



(株)ニチビ

医薬品事業

循環器用製剤



トーアエイヨー(株)

機械関連事業

振動ハブリング
洗浄器

三岐弁



機械電子事業部



消防自動車



日本機械工業(株)

二輪管理機



片倉機器工業(株)

不動産事業

東京スクエアガーデン



商業施設事業部

コクーンシティ



不動産開発部

その他

ニューライフ
カタクラ



小売事業部

マルベリー
ガーデン



交配専用みつばち商品



生物科学研究所

ビルの清掃等



(株)片倉キャロンサービス

<ご案内>

本資料中の業績見通し等についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。
その実現・達成を保証または約束するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料に含まれる情報の掲載にあたりましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りに関しまして、
当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

<お問い合わせ先>

片倉工業株式会社

住所：〒104-8312 東京都中央区明石町6番4号

企画部広報・IR室 室長 三上雅生 / 菊地信行

Tel : 03-6832-0223

Fax : 03-6832-0282

世界遺産登録「富岡製糸場」



特集WEBページ「片倉工業と富岡製糸場が歩んだ歴史」

<http://www.katakura.co.jp/tomioka.htm>